



着物が日常着だった頃まで子供着物の背にお守りとして縫い付けた「背守り」

いつの時代も子供の成長を願う親の気持ちは同じです。そんな「背守り」の歴史や背景、意味、技法などのお話しを伺います。さらに、子供着物の展示や背守りづくりのワークショップを行います。

# 母の祈り 背守り

背守りの展示とワークショップ



**展示** 2025年2月7日(金)~11日(火・祝) 9:00~21:00 (展示コーナー 2F)  
※日曜は 18:00 まで

**ワークショップ** 2025年2月10日(月)10:00~11:30(会議室 2F)

**場所** 逗子文化プラザ市民交流センター展示コーナー、会議室

**講師** 鳴海 友子さん(藍染作家)



**展示** 無料 **ワークショップ** 費用:1,000円(子どもTシャツ、材料費込み)定員:30名程度

**ワークショップ**  
**申込み** 1月4日(土)9:00以降 ①氏名(カタカナ)②年代③メールアドレスと電話番号  
を電話・FAX・Eメール・または市民交流センター窓口へ

**問合せ** ※手話通訳・要約筆記・託児は1月31日までに申し込み

[TEL]046-872-3001 [FAX]046-872-3003 [MAIL] ac-center@zushi-psc.org

## 講師プロフィール

## 鳴海 友子さん (藍染作家・背守り収集家)

岡山県倉敷市出身。

1999年より藍染め作家、鈴木道夫に師事。藍建と板締めを学ぶ。

2001年、古書店で見つけた雑誌で「背守り」を知り、心惹かれて背守りのついた子どもの着物の収集を始める。

「銀河」や「暮しの手帖」に紹介記事が掲載されたのをきっかけに、各地で背守りの展覧会やワークショップを開催している。

## 申込み書

氏名 (カタカナ)

年代

E-MAIL

※当日の詳細をご案内しますのでなるべくメールアドレスをご記入下さい。

TEL/FAX

質問等がありましたらご記入ください。

都合により企画の内容や定員・開催時間などの変更、中止させていただく場合があります。

## 【会場のご案内】

逗子文化プラザ市民交流センター

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11

TEL : 046-872-3001

FAX : 046-872-3003

MAIL : ac-center@zushi-psc.org

京浜急行「逗子・葉山」駅より徒歩2分

JR「逗子」駅より徒歩5分

(施設内駐車場は台数に限りがありますので公共交通期間をご利用下さい。)

